

がまくんとかえるくんってどんなひと？どんなかんけい？ —アーノルド・ローベル「お手紙」（「ふたりはともだち」より）—

本単元で育成する資質・能力

②論理的思考力

⑤主体性・積極性

⑦他者理解・他者との協働

- 1 日時 令和元年6月25日(火) 第5校時
2 学年 第5学年 男子1名 女子1名 計2名

3 単元のデザイン

(1) 単元について	(2) 児童について
<p>本単元は、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えたり、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることをねらいとしている。</p> <p>本教材は、がまくんとかえるくんの「ふたりは」シリーズの一冊、「ふたりはともだち」に掲載されており、がまくんとかえるくんの人物像や相互関係がよく表された一作品である。一度、2学年の時に学習しており、場面の様子や登場人物の行動などの内容の大体を捉えることはできている。「人物像」や「相互関係」という視点を与え、再度、読むことで2学年の時とは違った深い思考ができると期待できる。</p> <p>本単元では、登場人物の人物像及び相互関係をまとめて紹介する活動を設定している。この言語活動はC(2)ウ「複数の本を活用して、考えたことを報告する言語活動」に対応する。「おてがみ」だけを読むのではなく、「ふたりは」シリーズを関連付けて読み、まとめていくという活動である。文章を関連付けて読み、分かったことをまとめる活動は児童にとって明確な目標となるだけでなく、他教科の学習にも活用することができると考える。</p>	<p>本学級の児童は、1学期に「なまえつけてよ」で、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えたり、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする学習をしている。</p> <p>教材「父さんの宿敵」を用いて内容の読み取りのプレテストを行ったところ、平均得点率は100%であった。「父さんの宿敵はどんなやつか」、「『おれ』と『あいつ』はなぜ宿敵なのか」という問いに対して、正答した児童が100%だった。このことから、登場人物の人物像や相互関係についてはよく読み取ることができると考えられる。</p> <p>児童アンケートをとってみると、「いろいろなことを考えながら読んでいる」、「学習リーダーを中心に自分たちの力で学習を進めている」という主体性・積極性についての質問では、それぞれ「とても思う」と答えた児童が50%で「少し思う」と答えた児童が50%であった。主体的、積極的に読んだり、考えたり、学習を進めたりすることに課題があると考えられる。</p>
(3) 指導の手立て	
<p>指導にあたっては、</p> <p>課題の設定では、児童が課題意識をもち、意欲的に学習を進めるために、「がまくんとかえるくんの人物像や人物関係図をまとめて、ポスターにする。」というゴールを設定し、単元全体の簡単な学習計画を立てさせる。また、登場人物のがまくんとかえるくんの人物像や相互関係を多面的に捉えさせるために、「ふたりは」シリーズの本を教室に置き、必読書として設定する。</p> <p>情報の収集では、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を関連付け、それらを基に性格や考え方を総合して判断させる。また、物事の様子や場面に着目しながら読ませ、登場人物の相互関係についての描写を基に捉えさせる。</p> <p>整理・分析では、「おてがみ」や他の作品から読み取った登場人物のがまくんとかえるくんの人物像や相互関係、表現の効果を整理してポスターにまとめていく。どの描写から読み取ったのか明確にするために、本文を引用させる。</p> <p>まとめ・実行・表現では、学習の達成感をもたせるために、2年生が「おてがみ」を学習する時に、登場人物や相互関係について紹介する活動を実施する。また、学校図書館にコーナーを設置し、全校児童がポスターを見ることができるようにする。</p> <p>振り返りでは、学習の効果や児童の変容を見取るために、単元の終末に国語科アンケートを再実施する。</p>	

(4) 単元の目標		
○文章を音読したり朗読したりすることができる。【知識及び技能(1)ケ】		
○登場人物の相互関係や心情等について、描写を基に捉えることができる。【C(1)イ】		
◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。【C(1)エ】		
○進んで教材文や必読書を関連付けて読み、分かったことや考えたことを伝えようとしている。【学びに向かう力、人間性】		
(5) 単元でつける「ことばの力」(学習用語)		
[読む] ○中心人物 ○対人物 ○題名 ○相互関係(人物関係図) ○場面 ○人物像 ○全体像		
(6) 単元の評価規準		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力 [読む能力]	学びに向かう力、人間性
・文章の内容を理解するために音読したり、読み深めたことを表現するために朗読したりしている。	・がまくんとかえるくんの相互関係や心情について、描写を基に捉えている。 ・がまくんとかえるくんの人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして読んでいる。	・進んで教材文や必読書を関連付けて読み、分かったことや考えたことを伝えている。
(7) 本単元で育てたい資質・能力とのかかわり		
論理的思考力	文章を関連付けて読み、分かったことをまとめる力。(関連付ける、多面的に見る、要約する) ◆登場人物の会話、行動、場面の様子などから、正しく読み取っている。 (ノート・ポスター・発言)	
主体性・積極性	学習対象を総合的に考え、学びを連続・発展させる力。 ◆進んで教材文や必読書を関連付けて読み、分かったことや考えたことを伝えている。 (必読書読了リスト・発言)	
他者理解・他者との協働	相手のよさ、意見や考え方の違いを認め、受け止める力。 ◆自分の読みと友達の読みを吟味、検討し、総合的に判断している。(ノート・発言)	

4 精査力・解釈力を育てるための対話の工夫(テキスト・他者・自己との対話)

(1) 「物語10の読みの視点」を活用した一人学び
①時…がまくんにとって一日のうちの悲しい時(お手紙を待つ時間)～4日後
②場所…がまくんの家
③登場人物…がまくん かえるくん かたつむり
④中心人物…がまくん
⑤対人物…かえるくん
⑥出来事…かえるくんががまくんに手紙を書いたことを伝えたこと
⑦結末…二人ともとても幸せな気持ちになった/がまくんはとても喜んだ
⑧物語を一文で表す…お手紙をもらったことが一度もなく悲しく、不幸な気持ちだったがまくんが、かえるくんが自分に手紙を書いたことを知ることによって、とても幸せな気持ちになった話。
⑨語句の意味…「あきあきする」「幸せ」「不幸せ」「ひよとして」「親愛」「親友」
⑩表現の工夫…「二人とも悲しい気分で玄関の前に腰を下ろしていました」⇔「二人ともとても幸せな気持ちでそこに座っていました」(対比)、「家へ帰りました。…見つけました。…書きました。…入れました。」(リズム)、かえるくんの「優しい行動」の繰り返し(類比)など
(2) 物語の「ナゾ」の設定、解決
○「ああ、とても良い手紙だ。」ではなく、『ああ』がまくんが言いました。『とても良い手紙だ。』なのはなぜか。
○最初かえるくんは、なぜ「どうしたんだい、 <u>がまがえるくん</u> 。」と、がまくんのことを呼んだのか。(呼び方が「がまがえるくん」から「がまくん」へと変化したのはなぜ?)、(手紙が「がまがえるくんへ」との違いは?)
○かえるくんは、なぜ、かたつむりに手紙を渡したのか。
○がまくんはかえるくんのことを「親友」とは言っていないのに、かえるくんは手紙の中で「君の親友、かえる」と断定して言ったのはなぜか。

5 指導計画 (全7時間)

次	時	学習活動	評価			
			知 技	読 む	学 び	評価規準 (評価方法)
一	1	課題の設定 情報の収集 学習課題「がまくん・かえるくんはどんな人物？ どんな関係？」を設定し、ポスターのモデルや学 習のゴールを把握し、学習計画を立てる。 物語「お手紙」を読み、一人学びをする。	○		◎	学習課題から学習の見通しをも ち、学習計画を立てている。 (ノート、発言) 文章の内容を理解するために音読 している。(音読)
	2	情報の収集 整理・分析 物語の内容の大体について整理し、がまくんと かえるくんの心情や変容について描写を基に捉え る。	○	◎		がまくんとかえるくんの心情につ いて、描写を基に捉えている。 (ノート・発言) 文章の内容を理解するために音読 したり、読み深めたことを表現す るために朗読したりしている。 (音読・朗読)
二	3	情報の収集 整理・分析 がまくんの人物像を複数の描写を基に総合して 判断したり、作者の表現の工夫を読み取ったりす る。		○		がまくんの人物像や物語の全体像 を具体的に想像したり、表現の工 夫を考えたりして読んでいる。 (ノート・発言)
	4	情報の収集 整理・分析 かえるくんの人物像を複数の描写を基に総合し て判断したり、作者の表現の工夫を読み取ったり する。(本時)		○		かえるくんの人物像や物語の全体 像を具体的に想像したり、表現の工 夫を考えたりして読んでいる。 (ノート・発言)
	5	情報の収集 整理・分析 がまくんとかえるくんの相互関係を描写を基に 捉える。		○		がまくんとかえるくんの相互関係 について、描写を基に捉えている。 (ノート・発言)
三	6 ・ 7	整理・分析 まとめ・表現 がまくんとかえるくんの人物像と相互関係をポ スターに表す。			○	進んで教材文や必読書を関連付け て読み、分かったことや考えたこ とをまとめている。 (ポスター)

アーノルド・ローベルの「ふたりは」シリーズの並行読書

実行・振り返り

- ・6年生にポスターを見せ、評価してもらう。(国語)
- ・学校図書館に「ふたりは」シリーズのコーナーを設置する。(学級活動)
- ・2年生にポスターを見せ、「お手紙」や「ふたりは」シリーズの紹介をする。(国語)

★論理的思考力 (ノート・ポスター・発言・国語科アンケート)

…多面的に人物像や相互関係を捉えているか、肯定的評価前回比↑

★主体性・積極性 (必読書読了リスト・発言・国語科アンケート)

…全ての必読書を読んだか、肯定的評価前回比↑

★他者理解・他者との協働 (ノート・発言・国語アンケート)

…他者の考えをノートに書いたか、他者との関わる発言をしているか、肯定的評価前回比↑